

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

1 デーリイマン10月号

わが国乳牛改良の今後を探る 農林水産省生産局畜産部畜産技術室長 菊池令 氏

Q&A方式で乳牛改良の今後を分かりやすく解説してあります。特に牛群検定の普及・定着についてもその重要性を説かれています。

2 全酪新報

①9月20日号 生産性をいかにして高めるか

第3回 能力向上に関係する2つの力の働きが教えるもの

②10月1日号 牛群検定ワンポイントレッスン

その4 乳牛の健康管理

3 LIAJニュース(家畜改良事業団)No142 平成25年9月号

新しい検定成績表について(その28)ビデオ通信講座(第2回)繁殖編

畜産経営支援協議会においてビデオ化されている牛群検定による繁殖管理の改善方法を、詳細に解説しています。

LIAJニュースの入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。バックナンバーは、後述の当団ホームページをご参照ください。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報

検索

繁殖台帳Webシステムの

「交配種雄牛情報」を利用されていますか？

交配種雄牛の選択は、NTPの優れた高能力種雄牛を選択するのが基本ですが、近交を避けることも大切なことです。牛群検定に参加している検定農家であれば誰でも無料で使用できる繁殖台帳Webシステムでは、検定農家で使用されている検定牛1頭ごとに、NTPトップ40を交配した場合の近交係数を検索することが出来ます。そのうえで種雄牛の乳量や体型といった各遺伝評価値で並べ替えができますので、近交を避けた適切な種雄牛を見つけ出すことが出来ます。使用法は、動画でインターネットで公開されていますので、ご覧になってみて下さい。

動画 <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/cd/cd-info.html>

繁殖台帳Webシステム

検索



<お知らせ①>

このように、近交を避けた優れた高能力種雄牛を選び出せる「交配種雄牛情報」ですが、近日中に次の機能が新しく加わります！

①近交回避頭数

これまでの交配種雄牛情報は、牛群の雌牛1頭1頭についての近交係数を表示し近交を回避するものでした。この新機能では、検定農家で飼養する検定牛全頭のうち、何頭まで近交回避できるか、牛群全体としての近交回避を産次別に検討できます。

②調整交配情報

候補種雄牛の調整交配が11月から開始されます。今度の新機能では、候補種雄牛の調整交配についても、近交回避出来るようにシステム化しました。候補種雄牛は、最新の若雄ですので、血統的にも近交回避に利用出来る魅力的なものが揃っています。また、各都道府県に配布されている候補種雄牛に絞り込んであるので、より使い易くなっています。



<お知らせ②> 検定情報サマリーにボディコンディション スコアが表示されます！

検定情報サマリーに乳期を通じたBCSの推移がグラフ表示されます。後述のような乾乳期に過肥になってしまった牛がいつごろから肥りだしたのか履歴を追いかけることができます。

また、繁殖台帳Webシステムを使って、検定情報サマリーをパソコンやiPadに画面表示させれば、カラーで帳票を見ることが出来るようになります。近日実施予定ですので、ご期待下さい。

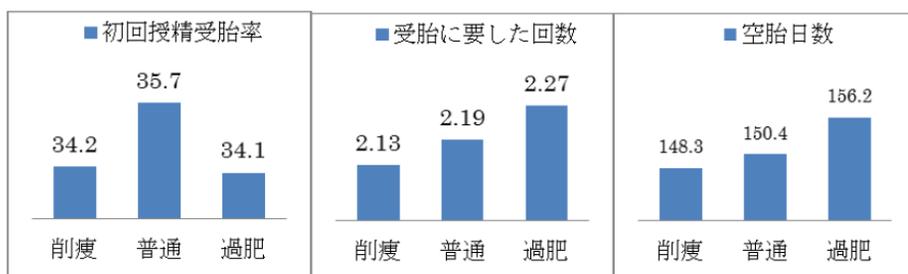
<お知らせ③> 次世代診断や改良情報(遺伝評価)が、 パソコンやiPadで見ることが出来るようになります！

繁殖台帳Webシステムでの帳票検索機能に、これまでご希望の多かった次世代診断情報や改良情報の検索が加わります。枚数の多い帳票から必要なデータを見つけるのは大変ですが、パソコンを使えば、あっという間に見つけることができます。これも近日実施予定ですので、ご期待下さい。

乾乳牛の過肥は、分娩後の繁殖を悪化させます。

牛群検定ではボディコンディションスコア(BCS)を報告できるようになっています。右図は乾乳期間中のBCSがその後の繁殖に与えた影響をみたものです。乾乳期が過肥だった場合分娩後の繁殖が悪化してしまうようです。乾乳期に入ってからBCS調整は困難ですので、泌乳後期からベストなBCSになるように調整して下さい。

乾乳期のBCSによる繁殖成績への影響(平成23, 24年度 都府県)



BCSの判定方法は、無料の動画がインターネット(畜産経営活性化eラーニング)で公開されていますので、ご参照下さい。

動画 <http://seo.lin.gr.jp/elearning/user.html>

畜産経営活性化

検索

～～ペットに注意！～～

ペットがパーラー内に侵入するのは好ましくありません。乳房炎をはじめいろいろな病気を感染させる媒体となり、衛生的とは言えないからです

搾乳前に、手でペットをなでたり、体細胞数の高い廃棄乳をペットに与えたりすることも好ましくありません。



食品を生産する現場にネコ?!

